

「若旅★授業」滋慶おもてなし&ブライダル・観光専門学校 実施報告
3連続特別授業実施（第1回 29.11.7、第2回 29.12.7、第3回 30.1.23）

近畿運輸局第9回目の「若旅★授業」は、「プレゼン力で突破しよう！」をテーマに、昨年度もお世話になったソールドアウト株式会社代表取締役 久米研二さんに講師をお願いしました。

同校で、9月5日に実施した長田講師（(株)リクルートライフスタイル:じゃらん編集長）による「若旅★授業」をきっかけに、同校と同社の連携プロジェクトに生徒さんが取り組むことになりました。『大阪再発見旅プラン』のテーマに沿って、自分たちが考えたプランをプレゼンテーションにより競い、最優秀作品を『関西中国四国じゃらん』6月号に掲載するという素晴らしい内容です。



この課題に取り組むうえで、「人の心を捉える見せ方」また、「プレゼンテーション能力を磨く」といったノウハウの取得に向け、白羽の矢を立てられたのが久米講師でした。

今年1月30日の同社に対する最終プレゼンテーションに向け、今回の「若旅★授業」は特別に3回行うことになりました。昨年の11月7日の第1回を皮切りに、12月7日並びに今年の1月23日と合計3回の授業を行いました。

第1回目の授業は、「プレゼン力で突破しよう！」というテーマで、パワーポイントを使った授業をしていただきました。授業のポイントとしては、まず「ターゲットをしっかりと把握し、相手の求めているものを知る必要があること」そして、「その良さをわかってもらいたいという強い思いでプレゼンテーションすること」が大切であるとお話されました。

第2回目は、生徒さんが班に分かれ、初めてのプレゼンに挑戦しました。プレゼンテーシ



ョン内容は、「ペルソナ像」を設定し、大阪府内・日帰りの旅行プランを提案するというものです。1番目は台湾女子留学生チームによる、堺を周遊するプランで『さかい利晶の杜』でお茶体験をし、様々なアジア料理を楽しむというものでした。2番目は男子チームによる、梅田で工房体験をした後、泉南のビーチで泳ぎBBQを楽しむというデートをイメージしたプランでした。最後は、女子チームによる「彼氏に告白させる」を最

終目標に設定し、ドライブによるエキスポシティ、T-SITE（枚方市）、大阪市立博物館、梅田の居酒屋などを回るというプランでした。プレゼンテーション後の助言として、「じゃら

んに掲載してもらうことが目標なので、じゃらんの傾向を研究し、書き方や体裁を考えることが必要」「コンセプトを伝えやすくするためにキャッチ・コピーを作る工夫も重要」「自分たちが設定したテーマをわかりやすく説明すること」「設定された時間内でプレゼンをおさめる。時間オーバーは厳禁」などの助言をいただきました。

第3回目は、生徒さんからそれぞれのプレゼンテーションのポイント説明を行い、各班の抱える課題や疑問点などについて久米講師が答える形で個別にミーティングを行いました。それを踏まえたうえで、プレゼンテーションを行い、3回にわたる特別「若旅★授業」が終わりました。その後、久米講師が助言や注意点を整理したペーパーを作られ、各班に届けられました。

そして、平成30年1月30日、企業プロジェクトの課題に対する生徒さんの最終プレゼンテーションが行われました。当日は、(株)リクルートライフスタイルの長田編集長、『関西中国四国じゃらん』の柴谷編集長、そして久米講師3名の審査員を前に、生徒さんたちは緊張しながらもカー杯のプレゼンテーションに取り組んでいました。久米講師の3回にわたる特別「若旅★授業」の助言をしっかりとふまえ、その出来映えは大変わかりやすく数段レベルアップしたものになっていました。

厳正なる審査の結果、「堺でアジアとつながろう」というテーマの堺を周遊する台湾女子留学生チームが最優秀賞に選ばれました。堺の歴史とアジアの国々との交流を伝え、お茶体験やアジア料理を楽しむというプランでした。選評として、アジア交流と堺の歴史というテーマをわかりやすく示し、アジア各国の料理が楽しめるという新しい発見があったとの審査



員の高評価を得ました。最優秀作品は、今年6月発売の『関西中国四国じゃらん』に掲載される予定です。

久米講師は、「予想以上にレベルが上がっていたように感じた。わかりやすいプレゼンテーションで、よく頑張ってくれた。」と話されました。

久米講師の熱心な指導と、生徒さんたちの頑張りが、素晴らしいプランづくりと人を惹きつけるプレゼンテーションにつながったと考えられます。

また、最優秀作品は校内のプレゼンテーションコンテストにも出場するとのことで、優勝チームの更なる奮闘を期待したいと思います。

久米講師、本当にありがとうございました。